

1. 件名：京都大学研究用原子炉（KUR）の原子炉設置変更承認申請に関する京都大学複合原子力科学研究所とのヒアリング（1）

2. 日時：令和4年10月12日（水） 15時15分～16時25分

3. 場所：原子力規制庁 8階北会議室

4. 出席者：

（1）原子力規制庁 原子力規制部 研究炉等審査部門

金子安全規制調整官、立元管理官補佐、加藤上席安全審査官、望月安全審査専門職

（2）京都大学複合原子力科学研究所

教授 他1名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 配付資料

資料：研究用原子炉（KUR）の標準応答スペクトルに基づく基準地震動（Ss-10）に対する耐震安全性の評価方法について

時間	自動文字起こし結果
0:00:07	ておりますので、P R、標準応答スペクトルのヒアリング始めたいと思 います。それでは資料に基づきの方よろしく願いいたします。はい。 今日最後のカメラでございます。
0:00:20	それでは資料、今日文書の部分と、図面の部分で置いてございます一つ でございますけども、それに基づいて簡単にご報告申し上げたいと思 います。
0:00:30	タイトルにありますように、研究用原子炉K U Rですね、今回、標準応 答スペクトルというものが定義されて、我々のこの基準地震動が一つ増 えることになりました。
0:00:41	これ我々施設中と呼んでますけども、というのはこれまで、当初はS s 1 から9 まで、九つの9 種類の地震動を基に、A s クラスの耐震安全性 を評価してきたんですけども、
0:00:53	今回新たにS s 10 として追加をされるということで、それを、今後その 施設がS クラスの施設設備が、このS s 10 に対して安全なのかどうか。
0:01:03	これまでのS 1 から9 までと同じように、特に補強もせず、今の受、現 状の構造で、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:01:12	大丈夫かどうかということ、間簡略的に簡便的に評価をする、今日はその方法、
0:01:18	実際の評価については、ちょっと後日またを申し上げます。今日はその考え方だけをまず簡単に。
0:01:25	お話ししたいと思います。一つ目の初めにはこれ、
0:01:30	伊佐でございます、
0:01:31	ご存知のようにもうこの基準の節 10 につきましては、地震津波審査部門の方で、ここにありますように、7月の20日の審査会合、これ3回目でございますけども、
0:01:42	そこで概ね妥当ということで、基準地震動 $S_s 10$ とともにですね、
0:01:48	建物への入力、これ基準地震動で我々のところ、
0:01:53	花崗岩ですから、-180メートルぐらいのところに解放基盤面を想定してございます。ここで基準地震動を設定をしてございます。
0:02:01	当然それ自身が建物建物に入力されるわけじゃないので、そこから180メートル地震動が同区減衰をしながら上に上がってくるわけですけど、
0:02:10	そこで、建物への入力位置での地震入力地震動、
0:02:15	というものも、前回のこの審査会合で承認されてございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:20	それを今そういう状況でございまして、そういう入力地震に対して、このSSの設備、施設が大丈夫かどうかということ、簡便的に、
0:02:32	まず評価を事前評価をしたいと。
0:02:34	ということでその考え方を、
0:02:37	そこに記載しておるものでございます。一つ目はそういうイントロでございまして、
0:02:42	二つ目は簡易的な評価方法の考え方。
0:02:46	そこにちょっとありますように、Sクラスというのはコア外に、重要度分類、
0:02:51	表1で付けてございまして、SBCと。
0:02:55	この基準地震動が該当するのはSクラスでございますので、Sクラスとしてはそこにありますように、生体遮へい、あと、燃料要素、炉心支持構造物、
0:03:07	炉心直下の一次冷却配管の一部です。
0:03:10	それと、ここに照射孔を放射光。
0:03:15	いろいろ書いてございますけどもこれ

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:03:17	生体遮へいの中を貫通してるものでございますので、まずこれは生体遮へいの安全性が確認されれば、これも同時にということで、そういうことを評価してございますけども、
0:03:28	ただ対象としてはそれも入るといふこと、これ冠水維持のために必要だといふことですね、それとあと使用済み燃料プール室の隣に併設されてるプール室、
0:03:38	これ自身も使用済み燃料、冷やすといふことでここもSクラスになってございます。プールだけでございますけども、
0:03:45	それと制御棒関係が三つ、これ吸収体と案内管ですね。それと制御棒とその案内管を認めてる取付金物、
0:03:56	非常に詳細にな部位を定義してございまして、そういう意味ではここにあります認識。
0:04:02	2.56789。
0:04:05	ここの設備施設設備があるといふことで、これらが今のS s 10 に対して、大丈夫かどうかといふことを、
0:04:14	新規制対応の時と同じような方法で、また地震動が変わるといふことだけで、後のやり方等々は同じ方法で検討したいといふことで、その、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:25	まず、
0:04:27	簡略的な方法でどういうことができるかということをご説明したいと思います。
0:04:31	それが2番のところにちょっと少しすごく書いてあるんですけども、
0:04:38	高良ですね、あ、すいません相馬他のずっと上に、Sクラスは内容をす る、原子炉建屋、これ本来Bクラスなんですけど、これ波及的影響で、
0:04:48	建物が倒壊してしまうと駄目なので、少なくともひびが入ってもいいん ただ倒壊しないという機能だけを意思できると、我々のとじ込み機能 は、
0:04:58	求めてませんので、クラックが入っても大丈夫だということで、倒壊し たりして、Sクラスに影響がないことを確認するというので、同じよ うに当然、このBクラスですけど、今の基準地震動に対して、
0:05:11	どうかということも評価をまずしてございます。それが入口論です。
0:05:15	そのあと、またからありますように、繰り返しますけど、
0:05:19	Sクラスの中に含まれてますので、当然原子炉建屋を介して、地震荷 重が作用します。地震力入ります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:26	そういう意味では、建物は譲らないといけないということで、動的解析をまずする必要があるということで、
0:05:32	そのあと、それが出た後に、それぞれの施設設備が、
0:05:37	どういう形での耐震
0:05:39	安全性を評価したかということ踏まえまして、
0:05:43	その簡易的に評価をしようと。そのためには、まず、
0:05:47	施設が立地されてる。これは床応答と言いますが、原子炉建屋、この、すみませんちょっと今の資料で、
0:05:57	と、地震動を飛ばしてですね、ちょっと提示し忘れました。1、図面の方ちょっと打ってないんで、図の2というのか、後ろから2枚目、3枚目ぐらいあると思うんですけども、
0:06:11	建屋の鉄筋コンクリート構造で、この前も見ていただきましたけど、1階と地下1階という、2層構造的な話です。ただ壁厚これちょっとかかるやつが少し書いてませんけどあんまり言っちゃいけないので、
0:06:25	ただそういうちょっと変わってますので、これをこの建物をですね、本来はこのシリンダーの円筒建物と、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:32	屋根はシェルです。シェルコードってコンクリート構造のシェル構造になってまして、それを、
0:06:39	一般的に図を使う保守点検モデルですね、これを、それを今 12341 階と二階負荷と少し上の方もやれと、途中の回も入れて今 4 して、
0:06:51	ベースフ名と直ってんですけども、そういうモデル化をした上で、
0:06:57	とともに、この今すればねロッキングばねってありますけど、建物を当然我々の岩盤じゃないので、
0:07:03	堆積層の地盤で固いことわからないんですけど、当然
0:07:07	やわらかさを持っていますので、こればねを評価した上でソース地震動が入る建物をロッキングしたり、横滑りしたりするんですね。特性は当然地盤特性によって変わりますので、
0:07:19	そういうものを、地盤の特性から、
0:07:22	評価をしてマネーを掃海して、失点后、
0:07:25	ですから、地震入力地震動ってのこのばねの下に入るわけです。
0:07:29	それではねを返して、建物が有する青い振動すると。
0:07:34	こういうモデルでやったときに、例えば生体遮へいってここに書いてませんけど、1 階に、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:41	あるわけですね。
0:07:42	そうすっとこの今の1Fという視点があるんですね。
0:07:45	この出典のところに
0:07:48	一定の動きによってその組成大変には力がかかる。
0:07:52	ということなんですけど、そのときに一つですね、大事な話は、
0:07:58	生体遮へいが剛体かどうか。
0:08:01	交代であればこういう方同じように動くわけですね。
0:08:04	ところがクォーターじゃないと、それをその自分の揺れやすい周期に入れますので、湯川市で入れても、
0:08:10	なかなか我々参事入れるかもしれない。うん。ところが5体であると1は1なんで、床応答をそのままの評価で、地震外力が、2016が決まるわけです。
0:08:20	ただ剛体にしてると非常に話はシンプルです。
0:08:23	ところがそうはいかないものもありますので、そういう時にはやっぱり周波数特性を考えながら、応答計算をするんですけどね。
0:08:32	その中で今回この増施設ありましたけど、それを元に戻っていただけると。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:41	かなりの部分が5対2設計をしています。ですからそういうものは、その床応答の最大加速度イコール地震荷重に転換されますので、
0:08:52	非常に今までの1から9と比べて小さいかを聞いただけで、もうそれはしなくてもいいというふうになるんですね。それで、もう一つ建物やね。
0:09:03	あれがですね、これ結構こういうセルなんですけど、
0:09:08	ややご存じ当然横方向の耐震部材ではないので、ただ上下の揺れると、当然家によって異なりますよね。うん。ただそれは別途、そんな知っているけど計算できないので、
0:09:20	ちょっと後の、このさっきのちょっと複雑ですけど、こういう立体モデルで、
0:09:26	計算を別途してます。これ屋根だけは、今の知ってんけど、別に、
0:09:31	やってます。それはまたそれで屋根が落ちない。
0:09:34	今回ちょっと上下が行ってますけども、基準地震動として行ってますけど、とりあえず入力地震動、また計算した後で、その上下動に対しては、こういうモデルで屋根が大丈夫かどうかを、
0:09:46	評価をする予定でございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:50	今、今のところ、大丈夫だという、
0:09:54	持ち合わせますけど詳細はまた、
0:09:58	という評価ですね。それで、その最後 1 ページの最後のところから、
0:10:03	S クラスの施設に対しての簡易的な方法ということで、幾つその設備ご とに、
0:10:08	どういう方法が考えられるかと。
0:10:10	いうことをその次の 3、3 ポツで書いてございます。
0:10:14	僕は原則あれ、先ほど申し上げました、まず防災であれば、
0:10:19	それが設置されてるかをと。
0:10:22	もうそれだけを見ていただくと、もうこれは何もせずに、OK。
0:10:26	わかります。それもいくつかあるので後で母さんご紹介します。それと あとそうじゃない。やっぱり、我々5 体ってのはもう 20Hz という一つ の目安を持ってまして。
0:10:36	これは条約でもいろいろ書いてあるんですけど、とりあえずそれを一つ の目安にして、
0:10:40	だから 19 やいかんのかって話ありますけど、
0:10:43	そんなもんじゃないんですけどとりあえず、その辺のあたりを、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:47	目安にして、剛体とかを判断をした上で、地震荷重を決めてるということです。これ、それで、まず生体遮へい、放射光。
0:10:58	照射孔、計測をとります。これ先ほど言いましたように、これ、ここの実験孔というのはデザイン貫通して、
0:11:05	あるわけですね。
0:11:08	配管が、それが生体遮へい、
0:11:10	これが当然、わざと壊れちゃったら、当然そいつも加えて、冠水維持ができるってということなので、まずは生体遮へいが健全であれば、そいつも健全だという、もう前提で今議論をしまして、
0:11:22	それで、生体遮へいは、そこがあります 0.025 秒、もうご存知なんだ、金久世の塊ですよ。
0:11:29	中に直径 2 メーターの井戸がありますけど、アンカーを周りは付け、厚さは 1 メーター1 メーター2 メーターですかね、の、
0:11:39	非常に硬いコンクリートですので、実際それ自身のこういう周期ってのはもう、ここにありますが 0.025 秒と、これここんところ 1 解析をして、
0:11:49	求めています。ですから非常に剛体であると。
0:11:52	という意味では、この設備に関しては、もう 1 回の買おうと。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:58	1回は今回のS s 10に対してどう入れるか。
0:12:01	ですね。
0:12:03	それを見れば、それと、これまでのS1から9までを比べれば、
0:12:08	もう、もう一目瞭然だと。
0:12:12	そういう評価をしようかな。
0:12:15	あと他にもあってちょっとこれそういうふうに整理してよかったんですけど設備ごとにあったので、また同じも出てきますけど、
0:12:21	それがちょっと先に言いますと、例えば三つ目。
0:12:24	燃料要素、支持構造物。
0:12:27	中小たい。
0:12:28	取付金物っていうところは皆、そこに書いてますように、こういう近い注記をして、一応すべて固いと。
0:12:36	ということで、支持構造物も結構ステンレスのしっかりした構造物なので、こういう計算をすると、もう20年以上であると。これ
0:12:47	新規制の時の設工認にも書いてございますけども、てことでこれも同じように、
0:12:52	そういうものが設置されてる。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:55	場所の床をと。
0:12:57	どうがこれんや入力になりますから、
0:13:00	生体サイト同じように、そこの大きさだけを、前々回の S s 1 から 9 万と比べて、
0:13:07	どうかってということがもう一目瞭然にわかると。
0:13:10	ということです。
0:13:11	それで、やっぱりこの二つ目と四つ目なんですけども、
0:13:17	炉心直下の 1 連続排出配管、本城に近くて、
0:13:22	炉心から降りてきて一次系が、ほいで最後バルブがあります。
0:13:27	丸江川レスプラスしてますというのはバルブを締めれば、うん。下で幾ら水が出ても、冠水上は、うん。保たれるということで、そのバルブよりも下流側を、
0:13:38	当然熱交換機があったりポンプがあったりしますけど、それを B クラスにしてまして、S クラスはその直下だけです。
0:13:45	ただ、その部分だけなかなか切り出した計算しにくいので、
0:13:49	我々の 1 体型で解いてます。全部つなげて、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:54	それで、その時には当然、S sの地震動でやってますよ。ただ対象がその部分だけで、その地震動に対して保管、壊れても全然関係ありません ということで、
0:14:03	モデルとしてはもう一体でモデルで解いてまして、それで出てきます。 ただこういう周期がですねやっぱり、
0:14:10	すべてにいかないので、やっぱり一次モードなんか言うときやっぱり数H zのところもあたりしますので、
0:14:17	これは一般やれる、これもうたるアナリスト言いまして、
0:14:23	構造物ってのは、要するに一次モードに地元さんに戻って、
0:14:27	当然不自由高の数だけそのモードが出るわけですけども、
0:14:31	それを何モードまでか考えましてそれで一次モード一番入りやすいんですけども、もうそそれは刺激関数って言って次元がどれぐらいの率で 売れるか、二次が取れるぐらいかでの計算されますので、
0:14:43	そういうものを考えてルートNEWSケア、よく言いますけども、それ ぞれの、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:48	地震力を二乗和平方根をします。これをもたらしして多分これ、包絡する形になると思うんですけども、そういう方法がありまして、これもスタッフの話ですよ。
0:14:58	ていうので、そうすると戻らない先生いるのは何かというと、この床応答の災害じゃなくてスペクトルがいるわけですね。うん。
0:15:06	スベックとかだから派遣が計算されると、当然その応答スペクトルの計算されますから、そのスペクトルをもとに、ある周期のところの値がこうある周期型変更というステップで出ます。
0:15:17	それはそれをモーダル話の中に織り込んで、ルート 20 万の若菜掘り込んで、最終的な概略を出す、その外力に対して、
0:15:26	配管サポート、それが許容値以外になるのかっていうことを評価をしますよということでは、今日本当はそのスペクトル出して、
0:15:36	S s 1 から 9 までのスペクトルと、
0:15:39	施設のスペクトルをお見せすると。
0:15:42	これも、
0:15:43	皆下回ってますよねと。
0:15:45	ということで、ご理解いただけるんだけどちょっとそれ

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:48	結構前回の時に、結構包絡をしたりですね。
0:15:53	結構保守的にいろいろと考えてましたので、
0:15:56	ちょっとその辺のデータ等を自己コンバインした形でお見せしないと、
0:16:03	すぐ理解できないと思ってですね、それは今度評価のところでちゃんと持ってきますので、ただ方針です。今日はモーターがない人使ってますよ。だからそのためには、
0:16:14	床応答のスペクトルをもとに、
0:16:16	前回と同じような形をするわけですけど、そうすると、そのスペクトル上で計算をしなくても、地震外力出さなくても、
0:16:24	スペクトルがそれを下回ってればいいわけですから、そういう結果をまたお見せします。ある周波数。
0:16:30	渡邊です。
0:16:32	さっきの生態系とか何とかいうのはもう剛体のところですから、
0:16:37	後退のところですから、
0:16:39	これどうぞ。
0:16:40	どういうのがいいですかね。
0:16:47	ボウタイのを、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:49	それがなかったかな、防災のところってというのは、その今の、
0:16:53	あのスペクトルでいくと、周波数無限大のところですね。
0:16:57	要するに、非常に硬いところですね。このスペクトルでいくと、
0:17:01	これ周期がこっち行くと、非常に硬いですね括弧 100 Hz までやってま すから、そうずっと、実は回転は 51 までですけど、だからこの非常に 周波数の高いところのこれ、こっち側方向の加速度なんで、
0:17:13	もうこのこの加速度ですね、一番周期の短いところのこの加速度か、こ れが、
0:17:22	建物に、施設に入る活動なり、
0:17:25	それをご存知な加速度×質量が力ですから、
0:17:29	それで力を出すわけです。そうずっとその力に対して、応力を求めてそ れが許容値かどうかを見るわけですね。
0:17:35	という意味ではそのごく短周期のところ、
0:17:38	もうそこを見れば、今の剛体の場合はその、それ自身がもう地震入 力、
0:17:45	ところが 4 月、
0:17:47	持っていると。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:48	これぞ存知のように5本のところで多くなってますよねこれ。
0:17:52	これ、多分これ加速度こっち方向なんで。うん。だんだんとこの辺のところ、大きいですよ。だからこの辺の周期のものだと、ここよりももっと大きな力を受けるわけですね。
0:18:01	だから共振現象ね。
0:18:03	ということもあるんでただ建物、施設が剛体であれば、もう一番ごく短周期のところ、これ、逆に言えばその床応答のこの8件ありますね。
0:18:13	その最大加速度が、これにフィットします。岸舩田板井。
0:18:18	最大加速度イコールその今の
0:18:22	はい。
0:18:24	志村安斎現在じゃないですけどその応答加速度とほぼ一緒になり、
0:18:31	これはちょっと置いて少なくとも剛体の場合には、もうこの、この絵を見るだけで、
0:18:37	すぐ
0:18:39	地震の荷重としてどれぐらいかってのすぐわかります。
0:18:42	ところが、先ほど言いましたように、1、肺癌等々につきましては、
0:18:47	モーダル話ということで、剛体じゃないので、それぞれの周期体ごとの

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:53	スペクトルの強さを求めて、それをルート水ケアで、
0:18:57	力を出さなきゃいけないので、でもその前にまずスペクトルが下回って れば、
0:19:02	そうですね、全周期にわたって伝わってればいいよ。
0:19:06	いや大田の場合はもう、ごく短州のところだけ議論できるわけですか ら。ところが、そうすると、全周期対ブロードバンドに議論しなきゃい けないので、そのスペクトルを、次回にはお持ちをして、
0:19:17	今回の設定によるスペクトルが全周期にわたってちっちゃいですよとい うことをお見せしたい。
0:19:22	ごめん。
0:19:23	それが今の2番の一次系の配管と、あと案内管、
0:19:29	制御棒って上から制御棒の上にプローブがある。
0:19:33	強い水の中に入って炉心まで行ってるわけですね、結構ある意味で、結 構長いので、それしかも途中サポートされてないので、
0:19:42	結構周期が短いんです。ないんです。長いでも数Hzですけどね。
0:19:47	そうするとやっぱりその共振の領域に入りますので、それを我々はそこ の床応答のその部分の、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:54	とか、その種は属性を見ながらモーダルお話してますのでこれも、
0:20:00	さっきと一緒に。市毛と一緒に、そのスペクトルが下回ってるかどうかをお見せすると。
0:20:06	応力解析までしなくてもいいわけですね。
0:20:09	実際は上回ってても、了解ちくまでして、表1を下回ってればいいわけですね。
0:20:14	でも、それだと、労力配分しなきゃいけないので、いやそれやってもいい。もうそれはやらなきゃいけないんですけども、
0:20:21	もしも、事前の門前払いじゃないですけどまず地震荷重として小さければ、もう何も知らない。
0:20:27	ただそれがまず説明できるかどうかというところが一番大きな今後の作業に、
0:20:32	影響するわけですけど。
0:20:33	ちょっと今のところは、多分しなくてもいいんじゃないかなと。
0:20:37	先ほど言いましたように燃取議題にわたって下回ってる可能性が高いので、
0:20:44	大丈夫かなと思う。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:45	そういう評価をして、
0:20:47	こっちは入りません。要するに当然設工認でものづくりとしての鉄子にはいきません。
0:20:53	という、ご説明をしたい。
0:20:58	思ってます。それを見せ今度設置込みでどういう形で出すか。
0:21:02	以前これ全部設工認なんですけどもこれ全部建物から1件、今私が言ったやつがみんな入ってます。
0:21:10	こういうものは、これはもう当然応力解析してますので、ボリューム高いんですけど、
0:21:14	まずこういう形で、まずその地震力の方だけの評価をした結果、
0:21:19	前よりも小さいと、節1から9まではちっちゃいということでもうそこで、
0:21:24	という手もありますし、
0:21:25	そこはまだご相談。
0:21:28	ひょっとしたら応力解析までした結果、木内伊賀ですかとそういう安全ですよという評価も必要になれば、前と同じこと。
0:21:37	そういう必要がある。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:38	それも全く払拭できてないんです。そうでは多分大丈夫だと思ってます。
0:21:44	建物は大丈夫。それはもう今、揺らしてますから。
0:21:49	それで、ちょっとそういう話で、さっきの
0:21:53	何度もその交代は大丈夫だって言ってますけど、その建物に映し出した結果がですね、この会合に入れてまして、これ3枚、3ページあります。
0:22:06	14、56 あるんですけども、114図5がこれさっきのEWS水平方向です。
0:22:14	今X方向Y方向と書いてますけど、Xが飯田N-Sで、
0:22:20	はい。Y方向がWという方向になってます。
0:22:24	ちょっと右のは、波のところに、S s -3、3、N-Sとかって書いてますけど、
0:22:30	ここにですね、それでN-Sだということをご理解いただけるかと思えますけど。
0:22:38	今回も久慈進藤って、水平と上下しかありません。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:41	N S E Wありません。もう一緒です、N SもE Wということで、もうここにはもうN S E W書いてません。
0:22:48	ということで、だからその次のページのY工区も同じ波で写ってます。 ただ、構造物が建物がN - S方向でいいだろうって、振動特性が違うんで、例えば開口があったり、
0:22:59	何とかありますので、当然おんなじほんとは品質であれば、どっち方向も一緒なんですけど、
0:23:05	開口の話とかいろんなことがありますので、
0:23:08	N S E W振動特性が違いますので、それぞれに国方向でやってますけど、
0:23:13	S s 10とか、この前のS 1、
0:23:18	このS 1も、
0:23:21	先ほどありましたように、
0:23:23	これも応答スペクトル法なので、
0:23:25	再度リストありましたようにここもN - Sは一つしかありません。
0:23:28	一緒です。これも模擬地震動ですから一緒です。今回標準応答スペクトルに基づきましたけど、前は平野常盤、断層体それぞれに対して、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:39	<p>応答スペクトルを適用してますので、この経験式ですけど、標準応答スペクトルじゃなくて、例えば耐専スペクトルとか別なスペクトルですね経験式。</p>
0:23:48	<p>それはもう機能と距離によって変わる。そういうものにフィットさせる波を作ってますので、これは円安飯田も同じです。一井大越はできません。</p>
0:23:56	<p>これでも 944 ガル、水平はこれ上下動が 358 ですが大きいんですね。</p>
0:24:03	<p>これ前の時の断層モデルは、結構、状況見ていただくとちっちゃいでしょ。</p>
0:24:08	<p>それで最後に、今回のやつが標準スペクトルがさっきあのスペクトルで見えていただいて、ちょっと上回るので、358 が 391 と。</p>
0:24:17	<p>若干今回のこの、この部分、ここら辺がちょっとで大きいんです。</p>
0:24:21	<p>この辺は絶対大きいんですけど、</p>
0:24:24	<p>この最大値はここで決まりますので、ここは 359 と 391 の小さいぐらいがちょっと出てるんですね。もう 6 ですから見わかりませんが、</p>
0:24:33	<p>そういうことで最大値がちょっと変わったんですけどもそれで言いたかったのは、この</p>

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:38	建物にするときは水平 1 方向、
0:24:41	一つの波です同じ方向、 X 方向も Y 方向もおんなじ波で写ってます。
0:24:46	それで一番もう簡単に水間いうところへパラメータが出てますけど、一番簡単なその最大応答加速度パイパスね。
0:24:54	これが床応答値、これ今井下から先ほど 12375、50 ってますよねあのベースマットは、先ほどモデルを見ていただけると一番上が屋根ですね。
0:25:04	これ、全部で 123 点、ここの出店がありますね。これ見ると、例えば生産者が乗るところっていうのは 1 回だとすると、この 1F のところの応答を見ていただいてですね。
0:25:15	これ前回のときに、結構 S s 1 から 9 まであったんですけど、
0:25:20	結構 N - S 方向に一番大きな揺れっていうのは、
0:25:23	3 番だったんですねこれ。
0:25:25	1000、1053 からもあって、
0:25:28	ただこれが一番、計算を全部やってますよ、計算を全部やってるんだけどもここだ品代表だけ置いてますので、ちゃんとだけ入れてますから、他は 1 から 12 も 456789 も、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:40	平成3年は小さいので書いてませんが、
0:25:43	それが一番大きいと思ってください。そうすると、今回のS s 10というのは、
0:25:48	こんなんですね。
0:25:49	そういうことは水平動に関しては、これはこのスペクトル見ていかないけども、水平はもう全然これまでのチャンピオンに払いませんよ。
0:25:57	あとは、
0:25:59	だから応答もちっちゃいね。
0:26:01	ただ通報全くも影響ありません。
0:26:04	地震荷重としては、
0:26:06	これはもう一目瞭然ですね、高精細にかかる力が、前は、この今の、例えば
0:26:12	ブルーであったり、黄色だったんですね。
0:26:16	ところが今回は、この一番下の、
0:26:19	資格、資格の単位ですね。
0:26:22	これぐらいの音しかないので、もう今回追加されたけども、
0:26:26	もう全くこの施設への影響は全くないと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:32	これはこのステップの物語ってますけど、
0:26:39	ほとんどE W方向、次のページですね。
0:26:42	これE W方向っていうの我々の非常時の一番ちゃんと。
0:26:46	4644 ある。
0:26:48	これ日本で多分、3 番目ぐらいに大きな基準値、原発も含めて、うん。 それ、
0:26:54	喜んでいいのかはわかりませんが、それだけ地震数が高いということ で、中央構造線断層体であったり上間千田の曾我側にあるので、それを 評価すると。
0:27:05	このように 1640 万になりましたということなんですけど、これが一番大 きいので、先ほどのY方向は、それを比較のため、
0:27:14	それ見るとフィールドワークで大きいですね。
0:27:18	図を見ていただくと、
0:27:19	これは当然S s 10 は同じですから、
0:27:23	地震の波同じ片田のモデルがちょっと違うので、少しは違いますけど、
0:27:30	建物モデルのパラメータが違うので、若干、ほとんど見てもわからんぐ らいの、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:35	違いかもしれませんが、
0:27:39	ていうので、これで水平動、問題ない。
0:27:43	これ問題は、もう水平の会社はもう先ほどずっと見せてます基準地震動 比べていただくと、もうこの千田根井って、この前田SSにならない ところなんですねこれ。ところが、上部、今も組み合わせを
0:27:55	考えなきゃいけないので、水が小さくても上が大きければ、
0:27:59	アウトなんですね今ね、形上は、
0:28:03	ということでS s になりましたけど、だから4月はもう全く問題ないって のはもうこの応答計算でもわかる。
0:28:09	この業務の
0:28:10	差、基準地震動のレベルでは次の先ほど言いましたように18以上が大 きいんですけども、
0:28:16	これ建物やる時に崎山塩原を返して入りますので、前の原水とか動特性 バレバレの特性ですね。
0:28:23	それによってそれ主伐特性がありますので、当然今のような10Hz以上 のところはちょっと大きくてもそこでフィルター化されちゃって、建物 への入力あんまりないんですね、結果的に。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:35	なんかでもあまり影響してないという、
0:28:37	で、結果的に、この最後のページですね。
0:28:40	これS1Vというのはこのさっきのこの上下動でちゃんとやったやつですね。
0:28:45	これの時の応答と今回の応答を比較したのが一番最後のページ。
0:28:50	これ見ていただくと、
0:28:52	いい方上まで、
0:28:53	皆下回ってますよね。
0:28:55	だから最大加速度的には、それに今回のちょっと大きいんですけども、最悪はこっちの何でもいいますけど一番周波数の高いところです。
0:29:03	ただそのあとは、S s 湾の方がこうずっと行っているわけですね、トップとは建物の例えばこういう周期であったりそういうところはS s は何が大きいわけ。
0:29:12	ただ結果として応答はS s 湾の方が起きたということで、
0:29:16	これ見たけどもエッセイする基準地震動として入れましたけど、実際の建物の応答からいくと、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:22	ほとんど、前のやつの方がちゃんとで、これやっぱり主地震動に周波数特性があるから、
0:29:28	ね、災害時だけじゃ駄目だと。
0:29:30	いうことをまずやってるわけですけど、そういう意味ではこれ、例えば5体であれば、
0:29:36	交代であれば、もうこれを見たらもう一目瞭然に、
0:29:39	もう今回のSSはもうほとんど施設の影響ないってわかるんですね。
0:29:44	これは、スタッフの話ですね。それから先ほど言いました一次系とか、
0:29:48	少し、
0:29:50	こういう周期を持つてる。
0:29:52	は、それでブロードバンドに影響しますからそれはそのスペクトルを皆見せないで。
0:29:58	これはもう頭ですから、
0:30:00	今日太田のやつからもこれ見ていただけると、もうご安心いただけるかなと思っていたんですけど、あとはその床応答の手術特性、
0:30:09	それをもう、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:10	今度お持ちして、それと、その中でS s編が、中がどういう位置付けにおると。
0:30:17	それがブロードバンドに全部下回ってれば、
0:30:20	もうOKですね。
0:30:22	という、
0:30:23	シナリオで、
0:30:25	持ってよ。
0:30:26	お持ちして、もしそれがですね多分ないと思うんですけども、若干ある周期で今回何かをちょっと大きいと。
0:30:33	それが施設への影響があるとすれば、
0:30:36	おなじ計算を費を回って、
0:30:39	最後応力が0.01が0.0になってとかって言っても許容値よりもちっちゃいですよっていう。応力解析はしなきゃいけない。
0:30:50	と言う事が今日の方針と今後多分それだけだともう計算立てもできてますので、
0:30:58	比較するだけだと。
0:30:59	入口論だけだともう多分そんなに時間かかんないと思うんですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:03	その結果、
0:31:05	それだけ地震荷重が増えると。
0:31:08	震度が増えると。
0:31:09	一時はその増え方で、
0:31:12	例えば今の応力の安全率が例えば2倍あったと。
0:31:15	安全率が二倍あったときに、例えば地震荷重が1割だけ多くなると。
0:31:20	そうするともう全然、その数字だけ見たら、リニアだと、全く問題ない んですね弾性体だと。
0:31:27	だからそうすつとそういう不詳細な計算をしなくても、安全裕度と、
0:31:32	その地震荷重の増減なアンド増加分で、ひょっとしたら簡単に簡便的に もう、
0:31:39	詳しい計算しなくても、
0:31:42	L s t に対しては安全ですよということをいえる可能性もある。
0:31:47	その次のステップはですね。
0:31:49	これ最後はやっぱり、なかなかそれ以外に、
0:31:53	数字だけで言えないとすると、同じ計算を、
0:31:55	以前やった計算通りに S s 中の、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:59	波を使って、
0:32:01	機器を動的解析をして、応力まで出して教室を比較する。
0:32:08	それが範囲なんですね。
0:32:10	もうこれは前回、モデル化等々もこれを認めいただいでるので、もうこれを我々変えるつもりもございませんし同じ方法で、ただ地震力、地震等が、
0:32:21	違う地震動を使って評価を、
0:32:25	もう入口まで終わること我々期待して、多分そうなると思ってますけど。
0:32:31	三つの種類があるから、
0:32:34	というようなことをちょっと今日は方針として、
0:32:37	それがはんぺん方というのはもう
0:32:40	前二つですね。
0:32:42	もう最後なんかこれ詳細、簡便法じゃなくて、実際の計算なんで、
0:32:47	神戸事は言えないんですけど、だから一つ目二つ目で終われば、これは簡便法的に、
0:32:52	S3 に関しては、施設の補強等々はなく、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:57	安全であるという結果をお見せすることができるかな
0:33:04	すみません、ちょっとかけ合って、
0:33:07	べらべらとお願いしましたが、以上でございます。はい。ありがとうございます。何か確認すべき事項ございますか。
0:33:20	清町の加藤です。そしたらちょっと何点か教えていただきたいんですが、まず2ページ目のサンプル片括弧1のところ、
0:33:30	一番最後片括弧1、一番最後のところで、参考までに暫定的な結果を14から16に示してあって、
0:33:43	対応姿勢に関しては、今まで基準地震動の応答加速度とかよりも左っ側にいて、つまり
0:33:54	低い値になってだから大丈夫だよっていうご説明だと思っています。はい。それで、
0:34:00	この2ページ目のところ、暫定、これはあるのはこの暫定的っていうのは、どういう条件でやるのは今日はその検討の方針だけお見せするつもりだったんですね。
0:34:11	今みたいに、1階の建物の1階の床応答がSS店と前と比べて、
0:34:18	小さいか大きいかで判断をすると。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:20	いうことだけを書こうと思ったんですけど、実際建物揺すりましたので、結構断定という言い方はちょっとおかしいんですけども、
0:34:28	今日は方針だけじゃなくて少しこの部分についてはもうこの結果を見ていただけると、
0:34:33	先ほど来ずっとお話します図の4、5、
0:34:36	を見ていただけると、もう前野伊勢線の小さいので、もうこれ断定じゃなくてこの計算が正しい最終我々の、我々がその業者から受け取ってアクセスをしたものであれば、
0:34:47	これはもうこれ正しいので、もうそうすっとこれ、例えば加藤さんおっしゃったように、今回のお前、下回ってるところでこれ自動的人力が小さいということですから、
0:34:56	地震力がかかっている人は小さいということで、もうこれだけ安全、
0:34:59	そういう意味です。すいません。
0:35:02	金の方です。そうしましたら、他の暫定的なっているのは例えばダブルチェックをしていないとかそういうところなんですけれど、あくまで今回のS s 中の評価結果を、
0:35:15	きちんとを踏襲した評価結果になって、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:20	ダム軸で若干変わる可能性はあるかもしれないんですけどきちんとした評価って立てるそうですね。はい。
0:35:26	別な伊勢じゃなくて今回の再裁定最終的には概ね妥当と。うん。ご理解いただいた、その波を使った応答計算ですから、
0:35:36	すべて同じモデルでやってますのでただ我々何もその品証的にそれを再確認したりとかっていうことをしてないので、それは、
0:35:44	今度評価結果をお見せするときにはもう当然これ判定から消しますけども、今日繰り返しますけどやっぱ方針だけをお見せするつもりだったんですけども結果出てるので、ちょっとご理解いただくためには、こういうものをまずお見せした方がいいかなと思ったので、
0:35:58	そういった暫定的で書いたのはそういう、わかりました。
0:36:02	プレストレスもちょっとこれも確認の意味なんですけれど、1 ページ目のところでの簡易評価方法っていうところで、今回のプラス 11 ページです。それとあと原子炉建屋、
0:36:20	それから今回の評価対象。はい。それでその 9 施設の中には使用済み燃料プールしても OK こいつらってのは原子炉建屋としてまた評価をするということだと思っております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:33	それで、この2ポツの2種のところの一番最後で、
0:36:38	この原子炉建屋のエリアBについては、鉛直方向の地震力に対して別途 立体格子モデルを用いた方法により耐震安全性を確認するというこ とで、
0:36:49	大森りずむを見せていただいていると思うんですけど。
0:36:58	ここについて、SEチームでやるっていう、それはこれ目処処理してま すからFMではないんだけど、それに多様なもう少し連続体を、
0:37:09	少しこれ見たら例えばやれなんていうのは普通は国立持ってるん です、解析的な計算できるんだけどこれ、こういう離散化しようとす ると、当然輸送もそうだというような要素を使うわけですけど。
0:37:22	これは今回の立体更新モデルという一つの要素の形といいますか、その モデル化の一つの方法なんですけど、有限要素法とは言わないだけ ど、それから1個ですね。だから、
0:37:33	全くこれ、ずっと下じゃなくやっぱりがあって、何分割するかによっ て当然こういうやつがこれ最後は教育委員会、
0:37:42	スムーズになるわけですけど、それはもう分割を細かくするかによ って、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:47	現実に近づくわけですけど、そこは
0:37:50	扱う周波数とかもいろいろ考えながらこの大きさを決めてるんですけども、一応そういうモデルでご存知ないね失点系モデルっていうのは、うん。単にそこのせん断荷重しか決まらないので、あれなんか、
0:38:02	それぞれ地震、地震にもつもんじゃないので。うん。耐震部材じゃないのであれば、うん。だから、当然その今の失点モデルやりますけども、
0:38:12	これ屋根自身は、うん。ここは、この壁なんですね、壁の運動時間かかるかですけど、屋根自身がどうだね。これ出てこないの、これは別途、
0:38:23	こういう場特に上下動に対しては、それやらないっていうので、これ以前もやってるわけですね。
0:38:29	それでまず今回のSS店に対して、建物こう両方言ったときに、
0:38:35	これも荷重、地震荷重がないように小さければOKなんですけど、
0:38:39	そうじゃなかったら、少しく揺らしてみ、
0:38:42	ほんで前と同じような評価をして、応力が、
0:38:46	許容値を満たすかどうかということを見るそれが耐震安全性の評価になるわけですね。それを別途、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:53	見て表した追加で、
0:38:58	これは波及的影響の観点ですね。わかりました。ちょっと、何もしたかったのが、簡単に言うと、3ポツでSクラス設備これ九つ。正確にはこれ八つあるのかな。はい。
0:39:11	それであと、原子炉建屋、原子炉建屋屋根を含む、それとあと、さっきの教育、それについてはどうやるんですかっていうところを確認したかったんですけど、今言われたように、
0:39:23	やっぱり床応答のスペクトルを見て、地震力が今までのところ包絡されているかどうかというのを確認するっていう、
0:39:36	そこはしたらもうちょっと詳細な評価に入って行ってそれでいいそうです。
0:39:40	わかりました。
0:39:44	松田カマエですまずあの、今おっしゃったように、まず床応答のスペクトル、これはごく短周期だけじゃなくて、ブロードバンドに周波数特性を見て、
0:39:54	それが関係する施設もございまして、単に剛体で一番周波数の低いところ、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:00	の値だけではなくて、
0:40:02	周波数特性も含めた形で、連帯が深まってくれば、当然オーケーだと。 うん。そういう2種類のものがあるというふうにご理解いただけたら と。
0:40:13	わかりました。あと私から聞いて最後になりました。1ポツの、
0:40:19	1パラの最後のところにですね。はい。今日、江藤、新規制基準対応時 におけるそれぞれの施設、
0:40:29	設備の評価手法等を、酸素つつ確認し報告するっていうところなんです けれど、この辺の参照っていうのは、
0:40:41	今言われた通り、初期購入申請においてはもしかすると、前の詳細評価 までいなくて、前段で終わる可能性もあるので最初にそういう。わか りました。
0:40:53	私からは以上です。はい。京野カマエです当然詳細までやるとすると、 もう前回と同じ方法でやりますと書くんですけども、そうじゃない部分 もあったので、うん。一応ちょっとその言葉遣いがちょっと、
0:41:05	この辺はちょっと本音ベースがあるので、我々としては設工認としては もう承認いただいた後に、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:11	非常に高まらないと、後段規制に行けないという理解だったので、そのあと、粛々と補正をして承認いただいた後に、こういう話をし、お話を して、
0:41:21	これを設交流の形であるのか、そういう形であるのか。当然補強が減ると すれば、当然そういう説明をちゃんとしたデポジットですけど、その辺 はその時にまたご相談させてもらおうと思ったんだけど、今回、
0:41:32	ちょっと事前という話であったのでこういう資料を作っていた。
0:41:36	ありがとうございます。
0:41:38	他、何かございますか。
0:41:58	何かありますか。
0:42:02	ちゃんとした中で、
0:42:07	なかなかね。
0:42:09	それと
0:42:10	図4で、走向方向で、うん。
0:42:16	フィーの方法で当然計算されてるっていうこと。
0:42:20	あのね、これはフリーというもの。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:24	N Cダブルってということで、建物をこういう平面的に書けば駄目だから こうなんですけど、何か、どちらでも同じような形ですけど、現実はその うじゃなくてですね、開口部があったりするので当然構成が、
0:42:36	剛性が小さいので今の進展の間のばねがばねの特性が当然方向で変わ るので、一応2方向でやってます。だから、当然それは
0:42:47	もっと弱い画面があれば、
0:42:49	という話だと思うんです。それはそういう方向には、ちゃんとそういう 弱いところついてますから、たまたまって言い方おかしいですけども、 そこは大丈夫です。はい、わかりました。
0:43:01	うん。
0:43:04	ほとんど屋根、開口部がないので、窓があるわけじゃないんだよね。だ からそんなにこっちの方向とこっち方向で、市の特性を受け変わる話じ ゃないんですけども。はい。
0:43:17	一部ご存知のサイズ飛田が燃料プールに行くところをとって、あれは
0:43:23	介護保険をちゃんと剛性を上げてきてますから、もうそんな剛性が、そ この断面がないときのように、ガクッと落ちるわけじゃないんですけ ど、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:33	とりあえずちょっとそういうことも含んだ形でN-Sという、
0:43:38	個別
0:43:43	ここに立体の時にはちょっとこういう対抗がちょっと、それはそこも反映させて、
0:43:50	ちっちゃな部分とかエレベーターのところとかですね。
0:43:55	制御室ですね、先ほど駒田春田君あれも、
0:43:59	原子炉建屋からいうとちょっと開口になってますんで、
0:44:04	あとトラックさえ、
0:44:05	列車の時にはそれ、
0:44:09	当然応力集中とかですね。
0:44:11	嘱望力を見るのも大事なので、そういう意味ではこういう細かくモデル化をして、
0:44:25	はい。
0:44:28	ここもちょっと、
0:44:30	もういいですか。それから、向井氏、向神谷さん。そう。繰り返しますが、うん。方針としては、最初に、床の

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:42	床応答の速度はKの最大値と、あとはもうアナリシスで計算して、下回 ってることが確認できれば概ね問題なし。
0:44:52	もちろん上回った場合は、その安全率だったりそういうのを考慮して、 法案的に検証して、確認できればよろしいですね。さらにそれでも駄目 な場合は、既存の計算値を使って、
0:45:06	S s に再計算してやるっていう段階の、今考えてよろしいですか。は い。共同のカマエです。その通りでサンセン%って、我々も最悪2で終 わるんじゃないかなという。1で、
0:45:17	終われば一番いいんですけど、ちょっとスペクトル上ちょっとこう出た りとかですねそのレベルが少しであれば、そういう意味では地震荷重 が、それでも止まれば前の地震荷重と比べて、それが
0:45:29	最終的な応力の安全率を比べてOKであれば、それも一つの安全性を、
0:45:34	説明する材料かなと思ってますのでそういうこともステップ2というか 2番目のバージョンとしてはありえるかもしれない。最終的にはもうそ ややこしければもう全部同じように計算してしまって、
0:45:48	最後の応力が許容値を踏まえて、同じように下回ってるかどうかを確認 するというのがもう、これは最終、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:55	もうそれ以上の方は多分ないと思うんですよ。はい。
0:45:58	ちなみに二段階その安全率とかそういうのってやっぱりどこまで許容するのかってのはなかなか、はい、すみません、京大の玉井です一応安全だっとうちがありますので、当然材料安全って羽田から、
0:46:11	発生応力がもうそれぞれよりも下回ってればいいという、そういうルート設計ですから。うん。だからそれが例えば2倍あったときに、当然これ、
0:46:19	スタティックでしかも弾性計算なので、当然荷重が二倍になれば応力2倍になるわけですよ。
0:46:25	だから、そこで保守性は、今の安定率の保守性から荷重が1割増えるのに、安全という場合あったら、もうそれはOKですよ。
0:46:35	それで、そういうのでお認めいただけたら、それが一番、2番目の選択肢。
0:46:41	そこであまり細かい議論なると、もう全部やった方が早いのでやる可能性もゼロで終わるんですね。
0:46:47	我々としてはもう一つ目で、
0:46:49	継続時間でスペクトルが小さくなるということで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:53	終われば一番済むって、その可能性は大いにありますので、
0:47:00	今の短縮だけではなくて、ブロードバンド三田スペクトルも、
0:47:06	今までのS1から9万よりは、
0:47:09	小さい。
0:47:10	降水は絶対小さな間違いないんですけど、
0:47:13	上下動だけですね。
0:47:15	これ今、細井今、水平上下組み合わせを
0:47:20	これ必須になってますので、
0:47:22	単独じゃないので、
0:47:26	同じそのSSで水質浄化を同時に作業すると。
0:47:30	いう形で計算をしなければいけないという、これ、これ当然かもしれませ ん。
0:47:35	ですからやっぱり、最後、最終的には上下動がどれぐらい影響するか。
0:47:40	そこに尽きるんですかね最後。
0:47:43	ただ、例えば20行って、我々入力をちょっと書かれてるわけです。
0:47:48	これはもう全然さ備えてないんですよ。この上下方向は16あるん で、もう絶えず一時かかっているわけですよ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:55	だから少々上がっても、もうその許容値で、
0:47:58	十分もつのだからこういう大スパンのやれとか、
0:48:03	そういうところはよくあの地震で屋根が落ちたとか話ありますが、
0:48:07	そこは一つの今の屋根も使っておりますよっていう、
0:48:13	給食です。すいません今のところ安全率っていう言葉なんですけれど、 なんすかねもうちょっと詳しく言うと、応力超過の裕度っていうふう な。おっしゃる通りです。その通りです。了解。そういう言い方もあ る。
0:48:35	はい。
0:48:40	規制庁だと思って、
0:48:44	ゴムのもの。
0:48:46	ではない。
0:48:49	質疑のときに、江藤、一体として考えて、スペクトルで比較するってい うような説明があったんですけど、その一体として考えるってもんって いうのは、建屋等設備等、
0:49:01	ではなくて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:02	<p>どうということですか。それがカマエです。1体というのは今、一つは対象は一次系の配管なんですね。1の配管、先ほど言いましたようにSクラスというのは、炉心直下のある一部なんで、</p>
0:49:14	<p>それ以外はBクラスになってます。ただ、SとBをこれは分けて、そこで縁を切ってですね評価求めたらできないことはないんですけども、</p>
0:49:22	<p>それはあれなので、もう全体系っていうのは位置付け出るのを一つのモデル化をして、それ全体こういうスって見るような感じですね。それで、Sクラスのところだけは当然基準地震動を有する。</p>
0:49:34	<p>これ他はBクラスですから、これは当然、</p>
0:49:39	<p>表示の可能性の時には、0のS sの半分でやりなさいとかっていう、別な規則がありますので、そのBのところはそういう地震力でもって、もう1回計算して、</p>
0:49:49	<p>ただ横領計算はその分はそれで、</p>
0:49:51	<p>エスパーのところだけは適正するんや。</p>
0:49:55	<p>応力計算のところ、当然その対象を変えるわけ。</p>
0:49:58	<p>ただ、モデル1、おんなじ一つの方で、</p>

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:01	ただそのときに、S s - Fするか、S d - Dするかという、これS Dの対象は、Bブランドと、
0:50:10	これでそうです。
0:50:11	です。評価するところはそのS sクラスのところだけですよという意味です。建物と、
0:50:19	同時に解析することを今回してませんというのは、
0:50:22	建物を、これやるときってというのは、建物の冒頭にその機器の応答が影響する場合、例えばおっきなまっすぐです。
0:50:31	そういう時は1回で計算しないと、それぞれ入れることによって建物の勉強しますから、当然悪いもんだと、ほとんど建物だけで、そういう影響しないので、ただ受け身ですね。
0:50:41	受ける力で設計をするということなんで、今回はいかないもんですから、配管が豊かで建物の揺れを左右するもんじゃないので、そこは営業切ってます。
0:50:52	聞いているだけで了解です。その設備を何か切るわけじゃなくて、設備を一体として考えて、その設備に、藤スペクトルとかどのぐらいかかるか

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	<p>っていうのを出して、過去の S_{s-1} から S_{s9} と比較をするというこ とで理解しました。その通りです。</p>
0:51:13	<p>今のところもちょっと教えていただきたい。</p>
0:51:17	<p>全体、全体のその形で考えた時っていうのは、</p>
0:51:22	<p>サポートの位置に、揺れが反映されるっていう理解でいい。うん。根井 それ感染力ですから。うん。当然</p>
0:51:32	<p>そこにあれがなくて、慣性力はそのマスにかかりますから、そこは単に 拘束条件。うん。</p>
0:51:39	<p>ただ実際は力が入るんだけどそこはこれ返して、これがどう入れるか、 これせっかくですから、</p>
0:51:59	<p>こんな感じで、配管をこうずっとですね、ここの線要素には国交省さん に書いて、それでこういうところは固定固結の固定化で、品だとして、 そういう形でバルブとか、いろんな重さをそこに1点置いて、</p>
0:52:13	<p>そういうラインメイクな計算なんだけど、実際の時刻歴計算ではなくて そのポードーレスってもちろん、うん。は周波数周波数計算みたいなも んですね。</p>

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:22	時刻歴じゃなくてっていう、それはもうなしで昔から怒られる、菅簡易的な方法なんですけども、
0:52:29	処方せんやってます。別途その時刻歴計算をしようと思ったらできるんだけど、うん。かかる今かたい構造物なんで、
0:52:38	あんまりそこまでせずに一番簡単な、よく使う問題の話でやったという。
0:52:43	赤い保守的なんですけど、こっちの方がやはり大きめにうん婦人会を取るので、
0:52:50	これで、これでひょっとしたら結果が悪かったら、
0:52:54	より詳細にやるという、普段よ、こういう計算って。うん。一番最初にも非常に保守的なやり方で一番簡単な方法でやってそれでOKだと。
0:53:03	ところがちょっと木内がぎりぎりだと。
0:53:05	ていう時にはもうちょっと詳細にモデル化をしてやるという、そういう段階を踏むので、
0:53:11	そういう意味ではこれは2番目ぐらいでこれでちょっとややこしかったらもうちょっと、
0:53:15	詳細にもうちょっとこう、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:17	時刻歴計算をしたり、うん。
0:53:20	そこまでいなくても応力的にOKだったので、もうかなりこれ見ていくとかなり安全とあったので、
0:53:26	そこまでやっています。
0:53:29	すいません。
0:53:30	はい、ありがとうございます。
0:53:32	他あります。
0:53:36	いただきたいんですけど、
0:53:38	これ簡易評価は一応巻上の問題はあるとはいえ、一応、
0:53:45	評価っていうかその減らし方も終わってるって感じ。ちょっと明日、コンサルの方に行って、まあまあなスペックとこれはもらってますので、もうこれで一応床応答的にはわかってんだけどあと先ほどのスペクトルですね。
0:53:59	結構難しい。初期の時にはですね、復旧という説があるものですから、これでええとみんな書いて、それを包絡させてるんですね。ただ非常に保守的にやってるのでこの包絡のスペクトルと今回のスペクトル比較書、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:13	というのでもうちょっとその作図とか、
0:54:16	もう結果が出てますので、その前の結果のデータをもとに来削除し直して、これが小さいですよっていう証明をしたいだけの話なので、はい、わかりましたということでそういうことです。
0:54:28	ですねちょっと確認なんですけど、確かに設置許可の記載事項に変更が必要ないかどうかという意味で何かしら御説明が必要になる可能性があるかと。
0:54:38	その場合、どういうことができますかという意味で確認したのは事実なんですけど、これ、要は簡易評価を、
0:54:47	された。
0:54:49	理事級っていうのかな。そうですね、こちらからリクエストした形になってます。
0:54:54	それいいですか。
0:54:56	いいですかって資料これ、これ出さなきゃなんない妄想や簡易評価は、我々はそこにもう頭書いてますけど、我々としては、まずS sが決まった後に、うん。当然それで教育の外来なんかも含めて、これ、施設が安全ですよこれは我々後段規制だと思ったので、これ設工認で、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:14	前のような計算書を出すのか、それとも今お話を話したような簡易的な方法でご理解いただけるのかってそこはもう我々選択肢があると思うんですけど、少なくとも、設置設置許可がおりて、
0:55:26	S s がやっぱりオーソライズされないと、今の段階でまたこれ将来なんですね。
0:55:31	これで安全だって、いや、規制庁の方々がオッケーですって、そんなこと本当にいえるのかなっていう、それは前からもお話しました。心配で。うん。だからやっぱりオーソライズされた後にそういうことをするっていうんだけど、今の時点で、
0:55:46	こういうことが要る、要らないっていうのは、許可の中身は、S s しか書いてないですから。うん。別にこのどこにサポートがあってどこで配管があってなんて書いてないわけ。うん。別にその、そこだけの中では、全くその安全監や屋内ですね。だから、後段規制がある。
0:56:02	企画の方が出てるリクエストは、あれは、
0:56:06	経過措置の関係だから、ああいう質問をされても私は理解できたんですね。
0:56:11	アイフルだったら、んね欲しいとか、1年後って言わなきゃいけない。うん。これはもう、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:17	ちょっと聞きたかったのはその簡易評価をするに当たった経緯なんですけども、今後の設置許可の審査にあたって必要になるかもしれないので、
0:56:26	あったとそういう理解でいい。
0:56:28	いや、いや、私は全くこれは、そちらの要求でやってる。
0:56:33	それは我々からするつもりは全くないんですけどいいましたように、承認された後に、後段規制としては、
0:56:39	何らかの形を出さなきゃいけないという我々事業者としては思ってます。それで安全であるということですね。でも、今の段階で、江崎町ない段階で、
0:56:48	それを、それが今、そういう位置付けなのか。
0:56:52	これは前から、
0:56:54	おはお聞きしてる場所なんですかね。
0:56:57	わかりました。共同大学としてはそういう認識だっけうことですね。 はい。ちょっと
0:57:04	あとは、大体終わってるってあれば、
0:57:08	ふうん。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:13	国庫。
0:57:18	なかったのは、
0:57:20	詳細評価をもって、
0:57:24	ご説明の中で一つ目、二つ目は簡易評価で三つ目になると詳細評価にな っちゃうって言ってましたけど、一つ目二つ目っていうのはこの資料の どの辺に行って、そうですねまた今の二つ目のことはですね、
0:57:40	具体的に書いてなくて、
0:57:42	要するに安全数の問題ですよ。それを計算するんする前に地震荷重が ちょっと大きかったと。うん。でも、それは前の保守保守の中に、
0:57:52	ここまでちゃんとなったら、わざわざ応力解析をするまでもないでしょ って話もあったんですね。一つ目は、単なる簡易評価で二つ目は安 全裕度の話で、
0:58:02	三つ目は詳細評価はそうです。わかりました。
0:58:06	これもちょっと確認です。剛体に関する評価についてはいわゆる応答倍 率法を用いるって理解でいいですか。
0:58:13	応答倍率法応答倍率法、冒頭剛体の場合はおおと場合、
0:58:19	違うところで、本当倍率法っていうのをどう火を使う。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:22	もう大田の場合はもうその床応答の
0:58:27	最大加速度すごい揺れの揺れの最大加速度イコールその地震動的にしんどくなる。
0:58:35	ということです。
0:58:36	こうやったらいいとか、
0:58:41	ある意味、いつ来るかもしれない。
0:58:59	それではない。これは朝機能あったと地震荷重があって、
0:59:03	ごめん、ちょっと待ってください。安全性評価時の荷重をそれぞれ比較することによりって書いてますよね。
0:59:11	加入が、
0:59:14	排出されると。
0:59:16	設計時の当該荷重最終。
0:59:21	だから、以前、節1から9まであった地震荷重と、今回の地震荷重が大きな価値たのかっていうことを見てやるというような意味を読めるんだけど、
0:59:32	それではない。いや、そうだ、ああいう、その成功と応答比って書いてますから、前の時と、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:42	設計時の荷重と、この今回の何か新しいもので、荷重の比をとって、それが今の安全率の中に入ってるかどうかというようなことを見るような話じゃないのかなと思うんだけど、違いますから。
0:59:55	いやだから、京都大学としてはどういうふうな評価をするんですかねって何か中で、いろいろ話し合ったときに、
1:00:04	配管系南通にはスペクトルモーダルですよと、A5 構造については応答倍率法ですよって説明を、
1:00:11	することが正しいのか、正しくないのかっていうことは、
1:00:15	それはそれは別に家族の問題で、別に
1:00:21	剛体だとそこの中の最下層そのままかかるっていうのはこれは科学なので、
1:00:27	当然その方法しか宗以外、私はないと思う。それぞれ返したって同じことしか出ないんですよ。時間かけて、そんないくらでも応答計算できますよ。ばねを交代にして、遊佐関田結果同じモデルだけの話で、
1:00:41	ということと、うん。ただ、
1:00:42	シュワツートクテー持っていると、西日本だって、それを作って持ってるわけですから、それと建物施設の周期が、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:51	一次モードに地元三次モードがあるピークのところにおればね。
1:00:56	当然ウォーターじゃなくて、
1:00:58	しておれば当然そういう問題の話がもう一つのやり方と、
1:01:01	1月特別考えてやる計算という意味から、
1:01:06	それは、
1:01:07	もっとそりゃ膨大な話じゃなくて、もっと時刻歴計算できますよ。いや、聞いているのは応答倍率こうかどうかということで、相当倍率をとってきたものですか。いや、だけどちょっと今、
1:01:20	野辺時田の当番医です。本当は応答倍率っていうのは、なかっただけの、
1:01:30	言ったらこう入れますよね、歌がある。なんで、ある周波数を持って、そこに意識してんの。こんなものがあれば、
1:01:38	これがあれば、当然その床の入れと一般の1周期。
1:01:43	入れやすいところになれば、これは起きるんですね。そうずっと、こいつ床に対するこいつの応答がオートバイ、
1:01:51	それを藤さん。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:53	今回鳥羽です。これは防災ですからもうオートバイの方、ここですか ら、
1:01:59	うんだからこの応答倍率法ではない、もう梨本倍増みたいなもんです よ。
1:02:04	それぞれの周期消費に対する床応答の
1:02:07	倍率を、
1:02:10	考えて、ルートインスペアやるわけですから、全部そのそこに入れるデ ータってというのは、ある周期の、
1:02:16	一種、出典の応答値を入れていくわけですから、これはこれ、これやば いぞって言ってるわけね。
1:02:23	この倍増込みでそのルート見つけあるわけ。
1:02:26	応答倍率法って言い方もできるかもしれん。
1:02:30	もっとシュワツートクテター考えてますからもっと、
1:02:34	これはあくまでも意識ってんですよそれは、大戸パレスホテル一般4 の、
1:02:39	それが、
1:02:40	こういう周期が3Lだと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:42	床毎のピークの3以上のところの値をこっちにかけるわけです。
1:02:46	これ、湯川市で動いててもここで動いてる後の時間かかるわけ。
1:02:52	らオートバイなんてないですよ、応答が増えるわけです。
1:02:57	それを単にある周期だけじゃなくてこいつが一次モードだけで動くんであればそれでいい。
1:03:02	西本さん、井元吉本ってあれば、当然これはもう高梨みたいなもんでルート水ケアで、それぞれの周期の、
1:03:09	費用を、
1:03:11	考慮した形で最終的な地震荷重を決めるわけ。
1:03:15	貴重な、まず、言っている確認してるのは5号の5の時っていうのは、大戸バルス法でやるっていう理解でいいんですか。
1:03:27	ちょっと待ってください。それしゃべってないです。そう。それと今回は、大戸バルトPの基本的に、家族とか上がったときに、じゃあ暴力的に、前回の評価結果からどういうふうに推測するか。
1:03:40	それとも、家族が1.5%だったとしたら、結果的に、発生後力っていうのが1.5倍になるでしょう。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:46	そういう評価結果っていうことなんですけれど、まず兄弟の考えとして 言えば、まず加速とか下がるんじゃないかっていう、
1:03:54	前のものよりも下がるんじゃないか、仮に上がったとすると、②も高に 行って、乙黒知子でやるんじゃないかと、②の方に行って、
1:04:06	例えば、応力評価の裕度の中で交錯していくのか、解析条件の変更に行 くのか、そういうところに行くっていうふうに理解し、
1:04:15	それ、それを考えてそれでいいんですけど、今の1週間のこれはオート バイですし、甲田林田って、その種ごとの応答のこの倍率を、
1:04:26	床に対する倍率をとっているわけですから、すべて応答倍率法なんで す。
1:04:31	時刻歴はつきり時刻病棟計算じゃないんです。
1:04:34	それぞれの周期に対する応答倍率を $\sqrt{2}$ スケアでやるだけの話で、本来 時刻歴でやると当然いろんなものが早出できて応答倍率なんて使わない んですね。
1:04:45	実際ある一定のものがある地震動に対してこう入れるわけですから、そ れは理解してるつもりで説明するにあたって、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:51	交代については応答倍率法ですって一言で説明が通るか、解説が必要なのかということはいわゆる応答倍率法なんですかとお伺いしました。だから違うのか相談合ってるのかだけお答えいただければいいんですけど、だからそこは湯川アドバイザーされませんけども、
1:05:08	バツイチだと思ってたら、結構です。
1:05:12	例えば糸井市です。
1:05:14	I R I Dちょっとした応答倍率法ですね、大平前ですよ。
1:05:18	じゃもうない人は違います。
1:05:20	それぞれ周期ごとの応答倍率を考えて、剛体の話だけしております。
1:05:28	はい、わかりました。安全度があれば、
1:05:34	あとおスペクトルモーダルの方ですね、剛体じゃない方ですね、これ自由度、モデルですと3次元モデル使ってます。
1:05:41	いや、3次元3次元自由度は幾つかっていうのは、ちょっと、要はそれ、バジェット3330三つ目です。これはもうちょっとこれ、これ本当は見えていただくと、一般ですね。うん。
1:06:00	監事吉井君もですか。
1:06:06	はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:07	わかりました。
1:06:11	ちょっと聞きたいのは、
1:06:14	閉、
1:06:29	はい。
1:06:30	すいません、最後に、
1:06:32	これ、ここだけ聞いてあれなんですけど、ここの、この枠組み、
1:06:38	これちょっとご教示いただきたいんですけど、なぜこの今のタイミングで、この安全であるかどうかというものを、その補正の前に、
1:06:46	承認される前に、その結果がいるという、そのC、
1:06:52	根拠といいますかそれをちょっと参考までに教えていただいて我々やること自身は、やぶさかじゃないんですけど、
1:06:58	ちょっと我々と、今までのこの規制の中では違ったので、
1:07:02	ちょっと、もし、今の時点で終わりでしたら、ちょっとご教示いただきたい。
1:07:07	これはご説明したつもりなんですけど、
1:07:11	もしかカー耐震評価についてに関して、せっかく補正が出てきますよね、音声が出てくると。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:19	なので、設備設計の方について変更がなくていいという判断を我々するにあたって、
1:07:27	どういう説明が京大としてできるのかっていうのを教えて欲しかったんですが、それをもし公表が許さだったと。うん。
1:07:34	うんだから補強が要らないっていう説明をする。
1:07:38	他は要らないんですって説明するじゃないですか。何で補強は要らないんですかってこちら聞きますよ。
1:07:42	それについて、例えばこういう評価をした結果あらあら、工事が要らないということなんです。そう。我々設備設置許可の者、審査にあたっては、
1:07:53	成立性の妥当性確認ってのはするんでね。
1:07:57	設置許可の審査のあれですよ。だから、それはば、要するに、
1:08:03	パクリとだったんですか。整理は国として、す。
1:08:07	節分ですか。
1:08:09	もちろん、新設炉はそのうちのできないんですよ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:12	この許可ってというのは、当然そういう施設もそうだし、申請するとともに、適用されると思うんですけど、もう申請もそんなことできないんですねまたそれから作るんだったら、
1:08:23	なので、成立性の方、成立性の妥当性確認、設置許可ってというのは基本設計ですので、詳細なところまで求めてないんですよ。だから、設置許可で言われてる内容が、
1:08:34	あらかた成立するかどうかというものを確認するものなので、それがあなた方、設置許可のレベルで確認できる内容の説明が欲しいんですよ。
1:08:45	それは、例えば、私の理解は、例えば新設の場合は、例えばこういう地震荷重をどういう地震力やりますと、そういうものが、この中でできるか構造的にですよ。
1:08:57	構造的にそんな何十人もおってかかったときにそんなものできるんじゃないかってそんなセールスどんな工法でできるんだってという公法的な話も今いろいろと、
1:09:06	今の申請の中でも、例えば鋳鍛鋼はて話もそうですし、それに沿って決まってますけど、あれが当然成立するのかどうかというようなことも、何か議論されてた。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:17	それは私も存じ上げます。それが成立するのでしょうか。
1:09:21	そういうものですねだからそれとおんなじ話なのか。
1:09:25	だから、そのあと申請の時はちょっとなかったので、
1:09:29	京都大学の審査の時はなかったということあるんですか。
1:09:33	その後あるんですね。
1:09:35	地下の審査では、すべてに大事して整理する確認を行っております。
1:09:42	山地尼寺主任とかも許可もらってるけどあんまりそういう話聞いたこと ないんで、今回HTRがあ審査会合でちょっと補正を待ってください とかっていって、何ですかって言ったら、ちょっと施設の安全性、
1:09:55	メールのいい時間かかるからって言われて、
1:09:58	それから、いや私はあれ、どういうことなんだろうって思ったらそれが こちらの方にも近いので、
1:10:04	あれが発端なのかなって思ってそれまではそういうIIIもそうですし、
1:10:08	他のS sはS3のまとめやすいと。
1:10:13	うちでも五つあるそうですけども、ただ今、
1:10:16	だからその審査の時にはそういうなかったと思うんですね申請の時に は、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:20	だからこれがもうこのSS一つ増えたということで、何かそういう話になったので、
1:10:25	何か規制が変わったのかな。
1:10:28	と思ったんですかってありません。
1:10:30	よろしいですかね。
1:10:31	よろしいですか。はい、じゃあ、はい。
1:10:34	その関係は、これまでしますか。
1:10:37	はい。よろしいですかね。そうしましたら、本件ヒアリングを終わりにしたいと思います。ありがとうございました。どうぞ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。